

Monthly

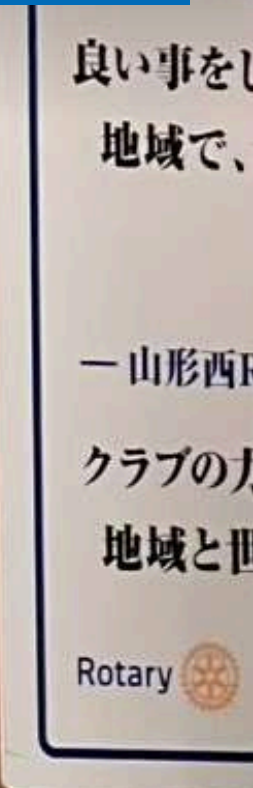
Yamagata West Rotary Club 2025-2026
国際ロータリー第2800地区 山形西ロータリークラブ



REPORT

2

February 2026



2025-26年度 国際ロータリーテーマ
RI会長 フランチェスコ・アレツツォ



ロータリー月間テーマ
平和構築と紛争予防月間

第3076回例会
「通常例会」
第3077回例会
「インターシティミーティング」

2月を振り返って



2月は「平和構築と紛争予防月間」でした。当クラブでは、私たちの本質に迫る2つの大変貴重な例会がございました。

1つ目は、来年の70周年に向けた史料管理委員会による例会です。委員長の戸田副委員長が2年間にわたり丹念に先人の志を紐解いてくれました。そこには、その時代の会員が何を大切に、次代に何を託そうとしたのかが刻まれています。歴史の延長線上に立つ私たちが、70周年をどのような思想で構築し、未来へ何を渡すのか。それを全員で考えることができた、クラブの成熟を示す大変意義深い時間となりました。

2つ目は、第5グループIMです。山辺の偉人・安達峯一郎博士をテーマに、柳原正治先生の基調講演を拝聴しました。国際法の理論と実像を結ぶ明晰なお話や、その後の知の奔流に身を置くような対話を通じ、地方にしながら一流の学識に直接触れられるロータリーのネットワークの価値を再確認いたしました。IMの負担が議論される昨今ですが、山辺クラ

ブの皆さまの協力により、地域にこれだけの知的機会と誇りが生み出されたことに感銘を受けました。

ロータリーは、単なる親睦団体ではありません。世界をめぐり、歴史と向き合い、未来を考える場です。確かな歴史の上に立ち、同時に世界基準の知的対話に触れられるこの環境と、それを共有できる仲間存在を改めて誇りに思います。会員の皆さま、関係各位に心より感謝申し上げます。

・第3076回例会 会長挨拶

幹事報告



武田秀和幹事

今月のロータリーレート 154円

確定申告用領収書のご案内

米山奨学会・ロータリー財団へ寄付された方の確定申告用領収書をボックスに入れております。

7ロータリークラブ合同ボーリング大会のご案内

参加申込のチラシをボックスに配布しております。

事務局アンケートの回答確認について

ご自身の回答内容を確認できるURLを追ってご連絡いたします。

委員会報告

広報雑誌委員会 橋本委員長



今月号（2月号）の「ロータリーの友」に、戸田正宏会員の俳句が掲載されています。ぜひご覧ください。

資料管理委員会 担当卓話



資料管理委員会 平田委員長

会長より「過去の周年記念事業の検証と数値化」を委託され、10年史から60年史までの周年誌を精読した内容を報告いたしました。手元にあった60年史を改めて隅から隅まで読み込んだところ、非常に丁寧にまとめられた内容であることを再認識いたしました。新入会員にとっては山形西ロータリーの歴史を学ぶ教科書ともいえる内容ですが、現行事務局に1冊しか保管されていないため、今後の電子化・アーカイブ化についてもご検討いただければ幸いです。

各周年では記念誌の制作とともに、地域に根ざした記念モニュメントが残されてきました。乙女の像（10周年）、光明の庭（20周年）、クラブ歌「蔵王を仰ぐ」制作と「燭」の像建立（30周年）、ブロンズ像「月の階段」建立（40周年）、「ラ・テザ」設置および大理石像建立（50周年）、「最上義光像」建立と山形交響楽団への寄付（60周年）と、10年ごとに会員が力を合わせて築き上げてきた歴史が刻まれています。周年誌を読み進める中で印象的だったのは、30周年のクラブ歌「蔵王を仰ぐ」制作にまつわるエピソードです。3年がかりで歌詞を公募した結果、予想をはるかに超える多数の応募が集まりました。無記名投票の結果、五十嵐康裕さんの作品が7票を獲得し採用となりましたが、他の応募作品もいずれも素晴らしく、会員の多彩な才能と熱意が伝わるエピソードとして記録されています。

また、50年史には新入会員当時の尾形亨さんの体験談が寄せられており、大先輩方が集う最前列の席に案内された際の緊張と、先輩会員の温かい言葉によって場が和んだ様子が生き生きと描かれています。時代を超えて変わらないロータリーの温かさと人との繋がりを感じさせる内容です。

会員アンケート（回答92名／100名中）では、過去の周年記念事業に関わった経験がある会員は44名にとどまり、半数以上が70周年を未経験であることが明らかになりました。また、記念モニュメントの場所を知っている会員は62名、この1年間で実際に訪れた会員は36名という結果となりました。モニュメントの多くは山形中央公園周辺の屋外に設置されており、お時間のある際にはぜひ散策がてらお立ち寄りください。周年記念事業は数字で表せるものではなく、ロータリー精神のもと議論を重ねて築き上げてきたクラブの大切なレガシーです。時代とともに変わるものと守り続けるべきものを見極めながら、来たる70周年記念事業に向け、先輩会員のご指導のもと、会員一丸となって取り組んでまいります。

インターシティミーティング

令和8年2月21日、午後2時から午後6時30分まで、パレスグランデールにて山辺ロータリークラブがホストを務め、RI第2800地区第5グループのインターシティミーティングが盛大に開催されました。この会場には、山形西ロータリークラブから総勢41名の会員が参加し、全会員の約40%に相当する多くのメンバーが一堂に会しました。

このミーティングの目玉である基調講演では、九州大学名誉教授である柳原正治氏を講師に迎え、「世界万国の平和を希求した安達峰一郎博士の生涯」というテーマで講演が行われました。柳原正治氏は「帝国日本と不戦条約～外交官が見た国際法の限界と希望～」といった安達峰一郎博士を題材とした著書を発行するなど、安達峰一郎博士についての研究でもよく知られた方です。柳原氏は、安達峰一郎博士の偉大な功績を詳細に紹介し、その生涯を通じて現代社会における平和と奉仕の精神の重要性を強調しました。参加者たちは、山辺町の偉人である安達博士の生涯を通じて、奉仕の精神について深く考える貴重な機会を得ることができました。

会場には、参加者同士の交流も活発に行われ、各クラブの活動や社会貢献についての意見交換が行われました。ミーティングを通じて、地域社会へのさらなる奉仕活動への意欲が高まり、参加者たちは新たなアイデアと共に、地域社会の発展に貢献する決意を新たにしました。このインターシティミーティングは、参加者にとって実り多い時間となり、今後の活動に活かされることでしょう。



クラブ会報アーカイブは
こちらのQRコードからご覧ください



山形西ロータリークラブ事務局

山形市十日町1丁目1-26 歌懸稲荷神社

indo-ywest@ywrc.jp